令和〇〇年〇〇月○○日

代表取締役社長　◯◯◯◯様

始　末　書

　私こと◯◯◯◯は、令和◯◯年◯◯月◯◯日に客先にて作業中に携帯電話を紛失いたしました。会社の財産を遺失しただけでなく、当該携帯電話が第三者に悪用される可能性があることから会社に大変なご迷惑をおかけする結果となりました。誠に申し訳ございませんでした。

　当該客先での業務は◯◯◯◯の納品及び初期調整でしたが、当日の気温は摂氏36度を超えており作業には大変な暑さを伴いました。上着を脱いだ上で作業を完了し、帰社したのちに携帯電話の紛失に気づいた次第です。  
　すぐに客先に連絡を入れ、作業場所周辺を捜索して頂くとともに、先方の社内でも情報を収集して頂きました。しかし作業場所は客先社員以外の外部からの搬入車や業者の出入りも多く、私自身も当日の勤務時間終了ののちに今一度客先に伺って周辺を探しましたが、残念ながら当該携帯電話の発見には至りませんでした。

　 なお、紛失した携帯電話に関しましては、取引先を含めた電話番号ならびに社名、氏名等の情報は登録されていたものの、画像データや書類ファイルなどのデータは日々バックアップファイルにコピーしたのち消去しているため、会社ならびに業務に差し障りのあるものは保存されていないと判断し、翌日電話会社に紛失を届け出た上で番号の使用を停止いたしました。

　今後はこうした不始末を再び起こすことがないよう、ふだんから身の回りの持ち物や備品のチェックを怠らないように致します。二度とこのようなことのないよう誓約するあかしとして本書を提出いたします。

ご迷惑をおかけし、まことに申し訳ございませんでした。

◯◯部◯◯課  
（ここは手書き・自著する→）〇　〇　〇　〇 印